

事業計画書

事業名	ぬまづの宝百選一首～100選をめぐって沼津の魅力を和歌にしよう～
実施場所	沼津市内全域
実施予定期間	2018/4/1 ～2019/3/31

◎実施内容

日 程	実施項目・作業項目
	<p>沼津市によって選定された『百宝事典 ぬまづの宝 100 選』（以下 100 選）を啓蒙・再認識し、和歌（短歌）を通じ、人・文化の活発な交流を行い、市内外に沼津愛（シビックプライド）を育むことを目的とする。</p> <p>本事業は、100 選に掲載されている歴史・文化・自然・味覚等について、富士山と駿河湾の自然により育まれた市民の優雅さや沼津らしさを和歌（短歌）として詠む。初年度は市民参加型ワークショップ（ぬまづの宝巡り＋和歌（短歌）の学び）を行いながら、広報・インターネットなどを通じて和歌（短歌）を公募し、選定会を行い、百選集として『ぬまづの宝百選一首』を発売する。</p> <p>次年度以降は、写真撮影会や写生会、書写会などを行いながらかるたを作成するとともに、学校・教育機関などに配布し、かるた大会を開催。また、かるたを販売することで事業化の自立を目指す。</p> <p>①第一次募集 百選一首（短歌）を公募 ・100 選を地域、項目に分け、1 期 2 か月毎に計 3 期で短歌を公募する。 ワークショップの開催 ・1 回 30 名の参加者を有料で募り、歴史や環境、観光などの専門家と短歌講師を招き、100 選巡りを行い、知見を深めると共に短歌創作のアドバイスやコツを学ぶ。冠づくりなども行う</p> <p>②第二次募集 百選一首（短歌）を公募 100 選について全般的に短歌を公募</p> <p>③公開選定会 ラクーンたかラボ（予定）で公開選定会を行い 100 首選定する</p> <p>④冊子作成 上記公開選定会で選首された 100 首の冊子（A5 見開き）を作成</p> <p>⑤発表会 冊子を学校・教育機関などに配布するとともにメディアなどに向け発表会を行う</p> <p>⑥キャラクター創作 短歌を幅広い年代に慣れ親しんで頂けるよう、また、沼津の優雅さを表現する平安貴族をコンセプトに、百人一首を編纂した藤原定家にちなみ、「藤原 comeon 橙家（仮名）」をコスプレキャラクターとして学習会やワークショップなどで活用する。</p> <p><スケジュール></p> <p>4 月 選定委員選考／リーフレット作成・配布／広報掲載依頼／コスプレキャラクターの創作</p> <p>5 月上～6 月末 第一次（1 期）募集受付 ワークショップ 戸田地区/自然</p> <p>7 月上～8 月末 第一次（2 期）募集受付 ワークショップ 沼津市内地区/味覚&にぎわい第一</p> <p>9 月上～10 月末 次（3 期）募集受付 ワークショップ 浮島地区/文化&歴史</p> <p>11 月上～12 月末 第二次募集受付 ※第 1 次で集まらなかった項目を重点的に告知</p> <p>1 月 公開選考会／最終 100 首選定</p> <p>2 月 冊子作成・発表会</p>

◎事業効果

※事業の効果を記載して下さい。

ソフト部門のステップアップ型事業・ハード部門4事業については、事業効果に対して、客観的な評価ができるよう、成果指標と数値目標を設定するなど、その検証方法を必ず明記して下さい。

- ・定期的に SNS 分析ツールやアクセス解析していく

#沼津の宝 #ぬまづの宝をアナリティクスや分析ツールを用い現在 0 件から年間 2000 件にする

和歌（短歌）講習→古典の学習と文化継承

- ・和歌（短歌）公募→市民参加(市内外に PR)によりシビテックの向上
- ・和歌（短歌）選定→市民参加型イベントによりシビックプラウドを増幅
- ・冊子化→百宝事典と対で教育での活用(小中学校・高校)を促し、新しい発展と想像を生みだす

◎評価の視点に合致していることの説明 ※評価の視点については、募集の手引きを確認して下さい。

公益性	ラブライブ・オリンピック開催等々により交流人口が増えてきている近年。ぬまづの宝 100 選をめぐりながら沼津市民はもとより内外で交流をすることにより、魅力を一緒に体感できる。
発展性	日本の宝でもある伝統の和歌を百首つくる事により、文化教養で親しまれてきた沼津を復活させる。また、冊子を教育や学習で用いる以外にも感情の入った観光、また郷土愛を形成することにつながりお宝が伝わりやすくなる。
地域性	100 選を地域ごとでめぐる事により、その地域の特色である魅力を体感し、ゆくゆくはロードマップにもつながっていき誘致の助けにもなる。体感する事で、市民だけにとどまらず、景観や歴史、習慣などを守ろうと思う心を育む。
必要性	年配が子どもに和歌やお宝、沼津の良さを教える事により、世代間交流を行うとともに、共感が生まれ、100 選を沼津の誇りとして次世代に繋ぐことができる。対象者が参加しやすい様に自己負担をなるべく少なくし多くの方に携わってほしい。
先導性	※事業の新規性や独自性など、工夫した点について記載して下さい。 ぬまづかるたなど、かつて作られたことがあったが、周知、利活用はされていない。数ある沼津の宝を厳選した 100 選をさらに周知するには、覚えやすく、また感情の入った短歌にすることで、100 選が、写真と文章だけでなく、情緒的で愛着あるものになる。
継続性	※助成事業終了後も継続的・自立的な活動とするために、どのように取り組んでいくかについて記載して下さい。 初年度は 100 選をもとに短歌を 100 首選考し、冊子作成を行うが、次年度以降は、写真撮影などを行いながら、かるたを作り、大会や教育の場で活用。沼津のお土産品としてお持ち帰りいただく。 沼津から近隣市町村へ波及させ、ゆくゆくは駿河百選一首を作りたい。

◎特に高い公益性を有することの説明

公募を市民だけではなく、HP などを通じて広域に行うので、募集の仕方・方法・SNS の活用等々を構築しながら質の高い交流を行うことが出来る。短歌はともすれば年配者や教養ある方の特別なものと思われがちだが、キャラクターを身近に感じてもらうことや、ワークショップを行うことで、間口を広げることが出来る。将来的教育現場や生涯学習において短歌を詠み、かるた大会や短歌の学びを世代を超え繋がり、取り組まれることを目指している。上毛かるたのように市民に愛され、誇りとなり、また、市外から訪れる方にも沼津の良さをさらに周知できるツールとして観光施設や観光地などとタイアップなども可能である。